

後援会報告

若竹荘後援会会長 牧野春美

平素より若竹荘後援会の活動に対し、深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、今年度も既に多くのみなさんから後援会会費を納入していただき、厚くお礼申し上げます。30年度の若竹荘後援会の活動について報告させていただきます。

6月の総会時には、NPO法人ゆうの理事長、豊田和浩氏を講師に迎え、「発達障害について知ろう」というテーマでご講演をいただきました。

講演の内容は、非常にわかりやすく、発達障害の方に限らず、気持ちの収支バランスがとても大切で、「楽しい気持ち」を収入として「悲しい気持ち」を支出として捉えて、貯金をためて支出をコントロールし、赤字から黒字にすることに心がけて、その人にあった関わりが重要である。といったように、いろいろな場面で活用できる内容で参加者の皆さんも、しっかり聞き入って、発達障害について理解を深めることができました。

恒例となりました志多らさんによります「若竹荘チャリティー公演」も21回を迎え、1000名を超えるお客様に志多ら結成30周年記念の素晴らしい演奏を堪能していただくことができました。

今年度の公演は、令和元年11月24日(日) 豊川市文化会館大ホールにて開催されます。チケットは9月1日に発売予定ですが、詳しくは、後日、ホームページでお知らせいたします。

また、後援会から行事防災用大型テント3基と新しいグループホーム用車両の助成として50万円を寄贈することができました。



グループホーム助成車両



志多ら公演